

事務局記事

1. 火山噴火予知連絡会開催状況（平成15年1月～平成15年5月）

- 平成15年1月7日(火) ・第9回活火山ワーキンググループ
平成15年1月21日(火) ・幹事会
・第94回火山噴火予知連絡会(定例会)
(以上の議事録は、会報84号に掲載。)
- 平成15年3月24日(月) ・第8回富士山ワーキンググループ
平成15年5月13日(火) ・幹事会
・第95回火山噴火予知連絡会(定例会)
(以上の議事録を本号に掲載。)

2. 第95回火山噴火予知連絡会について

三宅島の火山活動に関して統一見解(157ページ)をとりまとめ、全国の火山活動についてのまとめ(154ページ)とともに公表し、新会長、新副会長についても公表した。藤井新会長、石原新副会長、渡辺委員(伊豆部会長)、山本委員(気象庁)が記者会見で説明した。

3. 火山活動に関する説明会について

事務局(気象庁地震火山部火山課)では、定例の火山噴火予知連絡会の翌日、地方自治体および関係機関の防災担当者を対象に連絡会での検討内容を説明する会を開催している。第95回連絡会の翌日の平成15年5月14日に開催し、6機関9名の出席があった。

4. 富士山ワーキンググループについて

富士山における火山活動の変化の現れ方や火山情報等に関する調査を行うため、富士山ワーキンググループを平成13年7月4日に設置し、調査・検討を行ってきた。平成15年3月24日には検討結果の最終報告書案をとりまとめた。最終報告書案は、第95回連絡会で承認され、当グループは廃止された。報告書は会報82号及び当会報(85号)に掲載。

5. 火山噴火予知連絡会要綱・細則の改正について

連絡会の責任の重要性に鑑み、会長を助けるとともに不在時の代行を行えるよう副会長を置くこととする要綱・細則の改正を行った。また、必要に応じ臨機応変に委員以外の方も議論に加えるよう、臨時委員等の扱いを変更した細則の改正も行った。これらの要綱・細則改正は、第95回連絡会で提案し承認された(158ページ)。

6. 会長の選任、副会長及び伊豆部会長の指名について

井田喜明会長は、平成5年5月24日に会長に就任され、以後10年間にわたり会長としてご尽力されてきましたが、平成15年5月13日をもって勇退した。後任は、第95回連絡会において委員の互選により、藤井敏嗣委員が選任された。また、藤井会長の指名により、石原和弘委員が副会長として、渡辺委員が引き続き伊豆部会長として就任した。

7. 委員、臨時委員の委嘱及び幹事の指名について

学識経験者としての委員及び臨時委員の2年間の任期切れ(平成15年3月31日)に伴い、委員及び臨時委員の委嘱をおこなった。その中で、前期で勇退された浜口委員に代わり、植木東北大学助教授を新たに委嘱した。臨時委員は、土井臨時委員、津久井臨時委員、山岡臨時委員を引き続き委嘱し、小山内土木研究所上席研究員を新たに委嘱した。また、幹事には、平林委員及び植木委員が会長より新に指名された(委員名簿161ページ)。